

第七十四回 帝國議會 貴族院 災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案(追加)

昭和十二年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十二年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十二年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十三年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十三年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

關稅定率法中改正法律案
昭和七年法律第四號中改正法律案

昭和十四年三月二十三日(木曜日)午後二時四分開會

○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ開會致シマス、政府委員

○政府委員(松隈秀雄君) 昨日梅園子爵カラ御尋ガゴザイマシテ、後刻調ベテ御答ヲ申上ゲルト云フコトニナツテ、答辯ヲ留保シテ置キマシタ點デゴザイマシマスガ、各種災害

ニ對シマスル損害額ノ見積リト云フモノハナカク見積リ方ガ困難デゴザイマシテ、政府ト致シマシテ、確信ヲ以テ發表シ得ベキ數字ヲ遺憾ナガラ持ツテ居ラナイノデゴザイマス、外形的ノ被害狀況トモ申シマスカ、死傷者アルトカ、或ハ被害戶數デアルトカ云フモノノ調査ダケヲ持ツテ居リヲ得タイト思ヒマス、最近起リマシタ被害

デ、特別立法ヲ致シマシタモノトシマシテ、丹後地方ノ震災カラ申シマス、丹後地方ノ震災ニ於キマシテ死傷者、是ハ行方不明ノ者迄含シデゴザイマシマスガ、六千八百七十人ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ全潰半潰、全燒半燒等ノ被害戶數ハ一萬一千二十戸ニ及ンデ居リマス、次ニ昭和五年ノ豆相地方ノ震災ノ被害狀況ヲ申上ゲマス、死傷者ハ七百八十二名、家屋ノ全潰、半潰、燒失等ノ被害ヲ蒙リマシタモノハ六千七百九十二戸ニ及ンデ居リマス、次ニ昭和八年ノ三陸地方ノ震災被害、狀況ニ付テ見マシマス、死傷者、行方不明等ノ被害者ガ三千八百一人、家屋ノ全潰、半潰、流失其ノ他ニ依ル被害ヲ受ケマシタモノガ、九千三百

十六戸ニ及ンデ居リマス、次ニ昭和九年ノ函館市ノ火災被害狀況ヲ申上ゲマス、死傷者ガ三千八百二十四人デ、家屋ノ全燒、半燒致シマシタモノガ二萬三千六百三十三戸ニ及ンデ居リマス、同ジク昭和九年ノ關西地方ヲ中心トスル暴風雨被害狀況ニ付テ見マシマス、死傷者、行方不明等ノ被害者ガ一萬七千一百一人、家屋ノ全潰、半潰、流失致シマシタモノハ八萬五千九百二十五戸、浸水致シマシタ家屋ハ三十四萬一千九百八十八戸ノ多キニ及ンデ居ルヤウナ次第デゴザイマス、今申上ゲマシタ災害ニ對シテハ、何レモ特別ノ立法ヲ致シマシテ救済ニ當ツタノデゴザイマシマスガ、是等ノ事例モゴザイマスノデ、今後勅令ヲ出シマシテ、其ノ時期々々ニ適應シタ救済ニ當ルコトハ、政府トシテ實行上左程困難ヲ感ゼズニ行フトガ出來ルノダト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ丹後地方ノ震災以後ノ災害ノ狀況ハ詳細ク分リマシタガ、其ノ以前ノモノニ付テハ斯ウ云フ的確ナモノデナクテモ、何等カ被害狀況ヲ御調査ニナツタモノガ御アリニナルノデゴザイマセウカ、或ハナイノデゴザイマセウカ
○政府委員(松隈秀雄君) 大正十二年ノ關東大震災以前ノモノニ付キマシテハ、大藏省ノ書類ガ燒ケマシタノデ、調査ガアツタカモ知レナイノデゴザイマシマスガ、今日書類トシテ尋ネ出スコトガ出來ナイノデス、關東大震災ノ被害狀況ニ付テハ只今手許ニ資料ヲ持ツテ居リマセヌノデ、的確ノコトヲ申上ゲ兼ネル次第デアリマス
○子爵梅園篤彦君 昨日有價證券移轉稅ヲ課セラレナイデ、將來ハ國債證券ノ額面ヲ現在ノ二十圓ヨリ引上ゲ又ハ引下ゲル御意思ハナイカト云フコトヲ御尋ラ致シマシタ時ニ、矢野參與官ハ地方債證券、勸業債券等ノ權衡上二十圓ト致シタノデアルカラ、之ヲ將來變更スル考ハナイ、其ノ御答辯デアリマシタノデ、一應了承致シタノデアリマス、併シナガラ考ヘマシト昭和十二年有價證券移轉稅法ヲ御制定ニ相成ツタ時ニハ今日二十圓ノ小額國債證券ノ發行ヲ見ルコトハ豫想致サナカッタト御答辯ガアツタノデアリマス、即チ昭和十二年ヨリ二年モ經タナイ今日既ニ豫想ダニセラレナカッタ此

ノ小額國債證券ヲ發行セザルベカラザル事情ト相成ツクデアリマス、誠ニ世ノ中ハ三日見又聞ノ櫻哉デアリマシテ、驚クベキ變遷ヲ見タノデアリマス、就キマシテハ此ノ異常ナル世界列強ノ動勢、此ノ非常時局ヲ考ヘマスルト正ニ端倪ヲ許サナイモノガアルト存ジマス、故ニ將來ニ對スル見透シナドハ誰シモ正確ニハ到底出來ナイノガ本當デアリマス、ト申シマシテ將來ノコトハ分ラナイト云テ爲政者ガ拱手傍觀スルコトハ許サレナイノデアリマス、從ツテ小額國債ニ於キマシテモ單ニ地方債券、勸業債券ノ振合上二十圓トシタノデアツテ、將來是ガ變更ハ豫期出來ナイ、簡單ニ片付ケル譯ニハ行カナイノヂヤナイカト思フノデアリマス、斯ウ申シマシテモ或ハ賢明ナル政府當局ニ於カレマシテモ、相當御見透シヲ御付ケニナリ、或ハ御考ニナツテ居ルノヂヤナイカト思フノデアリマス、兎ニ角將來國債、公債ハ益々増發セラレ驚クベキ額ニ達スルモノデアルト存ジマス、然ラバ公債ノ消化ト云フコトハ第一ニ重大問題トナツテ來ルノデアリマス、申ス迄モナク公債消化ノ基礎ハ資源デアリ物デアリマス、故ニ國民ノ貯蓄ノミニ依存スルコトハ頗ル危險デアルト思フノデアリマス、固ヨリ通貨ノ膨脹、公債政

策ノ行キ詰リト云ツクコトニハ十二分ノ警戒ト考慮ラバ拂ハネバナライコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、結局資源ノ充實竝ニ開發ニ依ツテ公債ノ消化力ヲ培養シ、國民ノ貯蓄ニ依ツテ公債ノ消化力ヲ増長セシムル必要ガアルト信ズルノデアリマス、斯ンナヤウニ考ヘテ參リマスルト、公債ノ消化ト云フ問題ハ實ニ重大デアルト申サネバナリマセヌ、從ツテ將來ノコトハ分ラナイト簡單ニ片付ケルコトハ出來ナイノヂヤナイカト思フノデアリマス、仍テ政府ニ於カレマシテハ十分御研究ヲ願ツテ、相當將來ノ見透シヲ付ケテ戴キタイト思フノデアリマス、就キマシテハ此ノ際政府當局ノ御考ニナリ豫想シテ居ラレマスル所ノ公債ノ發行額竝ニ小額國債證券ノ發行額ニ付テ御説明ヲ願ヒマスルト共ニ、公債消化ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今梅園子爵ノ御述ニナリマシタ點ハ御尤ナ點ガ多クアルノデゴザイマシテ、御承知ノ通り現下ノ財政狀況ト致シマシテハ公債ガ増發セラル、コトハ避ケ難キ事情ニアリマスノデ、是ガ公債ノ消化ニ當ツテ政府ハ萬全ヲ盡スベキコトハ勿論デゴザイマス、公債消化ニ努メマスル方法ト致シマシテハ、一方ニ於テ國民ノ貯

蓄ヲ獎勵シテ、公債消化ノ源ヲ培養スルコトガ必要デアリマシテ、是ガ國債消化ノ大本トナルモノデアルト存ズルノデゴザイマスルガ、又一面ニ於キマシテ國債ヲ持ツコトヲ刺戟スル、持チ易クスルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、免稅率ヲ考慮スルコトモ必要デアルト存ズルノデアリマス、今回有價證券移轉稅法ヲ改正致シマシテ、額面二十圓以下ノ小額國債ニ對シマシテ、有價證券移轉稅ヲ免除スルコトト致シマシタノハ、ソコニ著眼致シタノデアリマス、二十圓ト云フコトヲ將來ニ互ツテ變ヘナイデヤツテ行ケルカドウカト云フヤウナ點ニ付テ御尋ガアッタノデアリマスガ、是ハ昨日モ矢野參與官カラ申上ガマシタ通り、政府トシテハ差當り額面二十圓以下ノ小額國債ニ對スル有價證券移轉稅ノ免稅範圍ハ之ヲ擴張致サナイ見込デゴザイマス、ソレハ有價證券移轉稅ト云フノハ御承知ノ通り流通稅デゴザイマシテ、流通稅ハ物ノ流通ニ擔稅力ヲ認メテ課稅致シマスノデ、原則トシテ免稅點ガナイノガ宜シイノデゴザイマスルガ、一方小額ノ勸業債券デアルトカ、貯蓄債券ノ如ク、中層以下ノ階級ノ貯蓄獎勵ニ資スルモノニ付キマシテハ、流通稅デアルト云フ理論バカリカラシテ、之ニ對シテ尙免稅シナイト云フ

コトハ行キ過ギデアルト考ヘマシテ、勸業債券ダトカ或ハ命令ヲ以テ指定スル社債券、其ノ中ニハ貯蓄債券等モ入ルノデゴザイマスガ、サウ云フモノニ對シテ流通稅タル有價證券移轉稅ヲ免除スルコトニ致シマシタ、其ノ立法當時ニ於テハ二十圓以下ノ國債ノ如キハ豫想致シマセズデシタガ、御說ノ通り今日ハ狀況ガ變リマシテ、國債發行高ノ殖エマシタコト、廣ク國債ヲ國民ニ持ツテ戴キタイト云フコトカラ、小額ノ國債ヲ發行シテ中層以下ノ者ニモ廣ク國債ヲ持ツテ貫フト云フコトヲ希望スルコトニナリマシタ關係上、外ノモノトノ釣合モ取リマシテ、額面二十圓以下ノ國債ニ對シテ、有價證券移轉稅ヲ免除スルコトニ致シタノデアリマス、免除スレバスル程國債ノ消化ノ助ケニナルコトハ言フ迄モナイノデアリマスガ、一方ニ於テ租稅ハ擔稅力ニ應ジテ課稅スルト云フ建前カラ、擔稅力ノ點ニモ著眼シテ減免稅ノ範圍ヲ極メナケレバナライノデアリマシテ、若シ將來國債ノ一層ノ消化ヲ圖ル爲ニ免稅ヲ更ニ一段ト徹シ、國民ニ國債ヲ持タセルコトヲ一層拍車ヲ掛ケテ獎勵シナケレバナラヌト云フコトニナラバ、所得稅ヲ免除スルトカ、或ハ資

本利子税ヲ免除スルトカ云フ方向ニ向ッテ
行クコトトガ理論的ニ是認サレルノデハナ
イカトモ思ヒマス、流通税トシテハ出來ル
ダケ免稅點ト云フモノヲナクシテ參リタ
イ、是ガ流通税ノ特質デアルト思ヒマス、
ソコデ先程申上ゲマシタ通り、目下ノ狀況

ニ於キマシテハ、額面二十圓以下ノ小額國
債ニ對シテ、有價證券移轉税ヲ免除スルト
云フ範圍ハ變ヘズニ行キ得ルノデアラウト
思フノデアリマス、尙國債ノ發行額ガ最近

ノ年度ニ於テドウ云フ風ニナルカト云フコ
トニ付テノ、政府ノ所見ハ如何デアるか
云フ御尋デゴザイマスガ、是ハナカクム
ヅカシイ問題デアリマシテ、今議會ニ政府

ガ御協賛ヲ仰ギマシタ結果昭和十四年度ニ
於テ發行シ得ルコトトナリマシタ國債ノ總
額ハ約五十九億餘萬圓デゴザイマス、而シ
テ昭和十三年度ノ國債發行豫定額ハ約五十

六億餘萬圓デアリマスカラ、ソレヨリモ總
額ハ増シテ居リマス、尙此ノ絕對額ガ更ニ
増ス傾向ニアラカドウカト云フコトハ、ハッ

キリ申シ兼ネマスケレドモ、大體同ジヤウ
ナ傾向ガ茲數年ハ續クノデハナイカト思ハ
レルノデアリマシテ、從ヒマシテ國債ノ消
化ト云フコトガ戰時財政運営ノ眼目トナル
ノデアリマシテ、此ノ消化ノ圓滿ニ行ハレ

ル爲ニハ、政府ハ有ラユル努力ヲ拂ヒタイ
ト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 私ハ或ハ聽キ漏ラシタ
ノカモ知レマセヌガ、公債ノ發行額ノ中、
小額國債證券ノ發行額ハドノ位ノ御見込デ
ゴザイマセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 小額國債ノ發行
ハ今迄ノ所大シタ金額ニ達シテ居リマセヌ、
尙今回國債整理基金特別會計法中改正法律

案外二件ノ法律案ニ依リマシテ、割引ノ方
法ヲ以テ國債ヲ發行致シマスコトニ付テ御
協賛ヲ願フテ居ルノデアリマスガ、此ノ法律

ヲ施行スルコトニナリマス、政府ハ從來
ノ利附ノ公債ト違ヒマシテ、割引ノ方法ニ
依ル公債ノ發行ガ出來ルノデアリマスガ、

是ハ公債發行ノ方法ニ變化ヲ與ヘマシテ、
目先ヲ變ヘテ、違フ種類ノモノヲ、例ヘバ
國債ヲ消化サセル一助ニシタイト考ヘテ居

ルノデアリマスガ、此ノ割引ノ方法ニ依リ
マシテ發行致シマスモノハ、大體ニ於テ小
額面ノモノニ限ル積リデアリマシテ、政府ノ
一應考ヘテ居リマス所ハ、額面百圓以下、
而モ最初ニ出シマスモノハ、寧ロ十圓券若
シクハ二十圓券ヲ中心トシテ出シタイト考
ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ方法ニ依リ
マスル小額面ノ公債ノ發行ハ、昭和十四年

度ニ於テハ一應二億圓ト考ヘテ居リマスガ、
是ハ第一回ヲ六月頃ニ發行致シマシテ、其
ノ成績ニ依ッテ、徐々ニ出シテ、一年間先ヅ

二億圓見當ト云フヤウナ限度ヲ目標トシテ
居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 政府委員ノ御説明ニ依
リマシテ大體了承致シマシタ、併シ尙多少
首肯致シ難イ點モゴザイマスガ、政府ノ御

方針ノ程モ明カトナリマシタノデ、此ノ程
度デ私ノ質問ヲバ打切りタイト思ヒマス

○男爵岩村一木君 災害被害者ニ對スル租
稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案第五
條ノ中デ伺ヒタイト思ヒマス、第五條ノ「第

一條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラル、國
稅ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ輕減
又ハ免除セラレザルモノト看做ス」ト斯ウ
書イデアリマスガ、此ノ法令上ノ納稅資格
要件ト云フノハドウ云フコトデゴザイマセ
ウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 法令ニ於キマシ
テ納稅ヲ資格要件トシテ定メテ居リマスモ
ノハ、近年ハ大分減ッテ參リマシタガ、尙殘ッ
テ居リマスモノガ相當アルノデアリマシテ、
其ノ主ナルモノヲ申上ゲマスト貴族院多額
納稅者議員互選資格ガゴザイマス、ソレカ
ラ陪審員選舉資格ガゴザイマス、商工會議

所議員選舉及被選舉資格ガゴザイマス、所
得調査委員及同補關員ノ選舉及被選舉資格

ガゴザイマス、家屋稅調査委員ノ選舉及被選
舉資格ガゴザイマス、ソレカラ政府ノ一般
競爭契約ニ參加スル資格ト致シマシテ、一
定ノ納稅ヲシテ居ルト云フコトヲ條件トシ

テ居ルヤウナ場合モアルノデアリマス、ソ
レカラ相續稅審査委員ノ選任資格ニ付キマ
シテモ、納稅ヲ要件トシテ居ルヤウナ次第
デアリマス

○男爵岩村一木君 其ノ次ニ只今ノ法律ノ
實施期デアリマスガ、此ノ附則ニモアル通
リ、「昭和十三年中ニ生ジタル災害ヨリ之ヲ
適用ス」トアルノハ、急イデ御實施ニナルヤ
ウニ思ヒマスガ、大體何時頃カラ實施ヲナ
サル御計畫デアリマセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 此ノ法律ガ議會
ノ協賛ヲ得マシテ成立致シマシタナラバ、
出來ルダケ早イ機會ニ公布致シマシテ、尙
此ノ法律ノ施行ハ、具體的ノ問題ニ付テハ、
勅令ニ委任サレテアリマスノデ、昭和十三

年中ノ災害ニ適用スベク勅令ヲ至急ニ公布
スルコトニ致シタイト存ジマス、尙御承知
ノ通り大體昭和十三年中ノ實績ヲ課稅ノ基
礎ト致シマス所ノ昭和十四年度分ノ個人ノ
第三種所得及個人ノ營業純益ノ如キモノノ

決定期日ガ間近ニ迫ッテ居リマスノデ、課稅技術關係カラ致シマシテモ昭和十三年中ニ生ジタル災害ニ對シテハ至急救濟ヲ與ヘルコトト致ス必要ガアルノデアリマシテ遅クモ四月上旬迄ニハ勅令ガ公布セラル、見込デアリマス

○委員長(伯爵白川資長君) モウ御質問ハゴザイマセヌデセウカ、御質問ガゴザイマセヌレバ、討論ニ入りタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 私ハ此ノ三法案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、先ヅ災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案ニ付テ見マスルト、關東ノ大震災ハ大正十二年、丹後地方ノ震災ハ昭和二年、豆相地方ノ震災ハ昭和五年、三陸地方ノ震災ハ昭和八年、函館ノ大火ハ昭和九年、關西地方ノ風水害及土浦ノ水害ハ昭和九年ト

言ツタ風ニ、チヨット最近十數年間ヲ顧ミマシテモ、大規模ノ災害ガ踵ヲ接シテ居ルノデアリマス、況ヤソレ以前ニ遡リマスレバ、私共ノ知ッテ居リマスル範圍内ニ於キマシテモ、其ノ著明ナ大災害ノミニテモ枚舉ニ追ナシト云フ有様デアリマス、此ノ事實ニ鑑ミマシテモ、寧ろ日本法案ノ提出ノ遅キニ失

スルト云フノ感ヲ深クスルノデアリマス、尙震災其ノ他ノ被害甚大ナル災害ガ突發致シマシタ場合ハ、其ノ都度法律又ハ緊急勅令ヲ制定致シマシテ租稅ノ減免、徵收猶豫等ヲヤッテ居リマシテハ、災害發生ノ時日ノ關係等ニ依リマシテ、敏速且適切ナル措置ヲ講ジ難イト云フ虞ガアルノデアリマス、

仍テ斯カル場合政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、被害者ヲ納付スベキ國稅及ビ被害物件ニ對シマシテ、課セラルベキ所ノ國稅ニ付テ、或ハ之ヲ輕減シ、或ハ之ヲ免除スルコトヲ得マスト共ニ、之ニ關聯致シマシテ課稅標準ノ決定、又ハ更訂、課稅ニ關スル申告及ビ申請並ニ納期ニ付キ特例ヲ設ケ、又ハ特別ノ徵收猶豫ヲ爲シ得ルコトト致シマシタ

コトハ、蓋シ妥當適正ナルモノト言ハナケレバナライノデアリマス、次ニ登錄稅法中改正法律案ハ商法ノ改正及ビ有限會社法ノ制定ニ伴ッテ、新タニ定メラレマシタ登記ニ付キ登錄稅ノ可否ヲ明ラカニスル爲登錄稅法ヲ改正セムトスルモノデアリマス、即チ有限會社ノ設立及ビ資本増加ノ登記ニ付テハ商法上ノ會社ノ設立及ビ資本増加ノ登記ト同様ニ出資ノ價格又ハ増出資ノ價格ノ千分ノ五ノ稅率ニ依ッテ課稅致スコトニ

ナツテ居ルノデアリマス、又改正商法ニ依リマスルト、一定ノ條件ノ下ニ社債ヲ株式ニ轉換シ得ルコトトナツテ居ルノデアリマス、

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

仍テ其ノ轉換致シマシタ所ノ社債ニ付テ納付致シマシタ登錄稅額ヲ控除シタ上課稅スルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ他改正商法ノ關係上現行稅率ヲ勘案致シマシテ社員ノ業務執行權ノ喪失ノ登記、取締役監査役又ハ清算人ノ職務執行ノ停止及ビ其ノ職務代行者ノ登記、會社ノ繼續又ハ回復ノ登記等ニ付テハ二圓乃至十圓ノ定款稅率ニ依ッテ課稅スルコトト致シ、更ニ會社ノ整理及ビ特別清算ニ關シマシテハ、裁判所ノ囑託ニ依ッテ爲ス所ノ登記又ハ登錄ニハ登錄稅ヲ課セザルコトト致シマシタガ如キ、何レモ商法改正ノ結果ニ依ルモノデアツテ、是亦當然且妥當ナル改正デアルト存ズルノデアリマス、最後ニ有價證券移轉稅法中改正法律案ハ、政府ニ於テ國債消化ノ一助トシテハ昨年八月以來、小額面ノ國債證券ヲ發行シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ額面金額二十圓以下ノ國債證券ノ移轉ニ付キマシテモ、額面金額二十圓以下ノ地方債證券、勸業債券等ト同様ニ、有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト致シタモノデアリマシテ、是等ノ地方債證券、勸業債券トノ振合上、當然ノ處置ト申サナケレバナリマセヌ、之ヲ要スルニ以上三法案共正ニ時宜ニ適シタルモノト言ハザルヲ得マセヌ、仍テ私ハ、雙手ヲ

舉ゲテ此ノ三案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

○菊池恭三君 私ハ贊成デス

○委員長(伯爵白川資長君) 別ニ御質疑アリマセヌカ……ソレデハ三案ノ決ヲ採リタイト思ヒマス、全部可決

シテ宜シウゴザイマスカ
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵白川資長君) 三案全部可決致シマシタ、ソレデハ一旦休憩致シマシテ三時カラ再開致シマス

午後二時三十分休憩
午後三時五十分開會

○委員長(子爵白川資長君) 是カラ開會致シマス、昭和十二年第一豫備金支出ノ件外五件ヲ議題ニ供シマス

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

○委員長(伯爵白川資長君) 三案全部可決致シマシタ、ソレデハ一旦休憩致シマシテ三時カラ再開致シマス

午後二時三十分休憩
午後三時五十分開會

○委員長(子爵白川資長君) 是カラ開會致シマス、昭和十二年第一豫備金支出ノ件外五件ヲ議題ニ供シマス

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

○政府委員(松隈秀雄君) 大藏大臣及政務官ニ御差支ガゴザイマスノデ、私カラ代ッテ御説明申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十二年第一豫備金支出外五件事後承諾ニ關スル件ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御説明ヲ申上ゲテアツタノデアリマスガ、茲ニ委員會ニ於キマシテ全體ニ互ル數字ニ付テ一應ノ御説明ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、昭和十二年第一豫備金第一豫備金ヨリ七百五十一萬

圓、特別會計第一豫備金ヨリ千二百十萬餘

圓、同豫備費ヨリ二千三百五十一萬餘圓、

合計四千三百十三萬餘圓ヲ支出致シマシタ、

次ニ昭和十三年度ニ於テハ一般會計第二豫

備金ヨリ五千六十四萬餘圓、特別會計第二

豫備金ヨリ五百七十八萬餘圓、合計五千六

百四十三萬餘圓ヲ支出致シタノデアリマス、

右ハ何レモ豫備金或ハ豫備費ノ豫算ノ範圍

内ノ支出デアリマス、尙昭和十三年度特別

會計豫備金外ニ於テ其ノ國庫剩餘金等ヲ以

テ豫算外ノ支出ヲ致シタモノガ三百十四萬

餘圓アリマス、各事項ニ付キマシテハ各省

所管ニ互リマシテ各、提出シテアリマス計

算書竝ニ調書ニ説明シテアリマスガ、尙御

質問ニ依リマシテ申上ゲルコトニ致シタイ

ト存ジマス

○男爵岩村一木君 昭和十二年勅令第四百

九十六號ト云フノハドウ云フノデゴザイマ

スカ

○政府委員(氏家武者) 昭和十二年勅令第

四百九十六號ト申シマスノハ、御承知ノヤ

ウニ第一豫備金カラ補充致シマスル費途ハ

豫メ勅令ヲ以テ指令スト云フコトニナッ

テ居リマスノデ、毎年度補充費途指定ノ勅

令ヲ出スノデアリマスガ、其ノ十二年度分

ノ指定ヲ致シマシタ勅令ガ即チ此ノ勅令デ

アリマス

○男爵岩村一木君 此ノ昭和十二年度ノ特

別會計ノ方デ、第一豫備金又ハ豫備費カラ

豫算超過ノ支出ヲシタト云フコトガアルヤ

ウデアリマスガ、ドウ云フモノノ超過デゴ

ザイマセウカ

○政府委員(氏家武者) 只今ノ御尋ハ、第

一豫備金ガ即チ豫算超過支出ノデアリマ

スガ、ドウ云フ費途ニ支出サレタカ、其ノ

費途毎ニ詳シイコトヲ御尋ニナッテ居ラレ

ルノデゴザイマセウカ、其處ノ所ヲモウ一

度御願ヒ致シタイト思ヒマス

○男爵岩村一木君 非常ニソレハ大部ナモ

ノデゴザイマセウカ、極クアラマシテ結構

ナンデゴザイマスガ……

○政府委員(氏家武者) 昭和十二年度ニ於

キマシテ第一豫備金カラ補充致シマシタ費

途ハ相當多イノデアリマスガ、其ノ中比較

的金額ノ多イモノニ付テ申上ゲマス、軍

事扶助費ガ五百萬圓、ソレカラ傳染病豫防

検査所費、是ガ十萬八千五百三十三圓、海港檢

疫費二十二萬六千四百九十九圓、税關特派官

吏費十二萬八千九百九十一圓、海軍拂下圖

誌製造費十萬二千六百二十圓、下士官及兵

家族扶助金二十二萬七千六百八十五圓、矯

正院及刑務所收容費八十一萬八千三十八圓

等ガ著シイモノデアリマス

○男爵岩村一木君 次ハ昭和十三年度ノ特

別會計ノ方デ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支

出ヲ爲シタルモノト、豫備金外ニ於テ其ノ

國庫ノ剩餘金等ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ爲

シタモノト云フコトガアリマスガ、此ノ豫

算超過ヲシタモノノ主ナルモノヲ金額ヲ舉

ゲテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(氏家武者) 十三年度ニ於キマシ

テ特別會計ノ第二豫備金及豫備金外ノ支出

ヲ致シマス其ノ費途モ是モ相當多額ノ費目

ニ互ッテ居ルノデアリマスガ、其ノ中主ナル

モノヲ申上ゲテ見マス、第二豫備金支出

ト致シマシテ、朝鮮總督府特別會計ニ於キ

マシテ、臨時警察費三十七萬五千二百十四

圓デゴザイマス、國境地方被害善後費トシ

マシテ九萬七千六百八十九圓ト、モウ一口

二十二萬三十圓、ソレカラ鐵道線路其ノ他

水害復舊費トシマシテ百六十八萬二千六十

四圓、道路河川其ノ他水害應急費ノ補助ト

シマシテ九十萬六千六百圓、水害罹災者支

援費補助費トシマシテ二十三萬百七十圓早

害罹災者救濟施設費補助トシマシテ四十六

萬八千二百五十六圓、臺灣總督府ノ方ハ特

別會計ニ於キマシテ臨時警察費トシテ十四

萬三千二百五十二圓、鐵道線路其ノ他風水

害復舊費トシマシテ四十六萬二千八百五十

五圓、道路堤防其ノ他風水害復舊費トシマ

シテ十六萬八千七百五十六圓、道路堤防其

ノ他風水害復舊費補助トシマシテ二十萬六

千二百十五圓、南支那及南洋施設費補足五

十萬四百四十四圓、ソレカラ樺太廳特別會

計ニ於キマシテ、臨時警察費、臨時防空施

設費補助等トシマシテ支出致シマシタモノ

モアリマスガ、是ハ金額ハ少額デアリマス、

ソレカラ國庫剩餘金支出ヲ致シマシタモノ

ハ樺太廳特別會計ニ於キマシテ、十六萬四

百三十一圓、鐵道諸拂戻金トシテ百四十

四萬八千五百七十七圓、ソレカラ更ニ餘裕金支

出ト云フノガ矢張り豫備金外ニ於デアリマ

ス、是ハ通信事業特別會計ノ資本勘定ニ於

キマシテ百五十三萬二千八百九十四圓、斯

ウ云フコトニナッテ居リマス

○男爵岩村一木君 大體細カイコトハ能ク

分リマシタ、ソレデ先程政府委員ガ提案ノ

御説明ノ時ニ衆議院ノ方ノ提案ノ説明ト、

只今委員會ニ於テノ説明ト多少違ッテ居ル

ヤウニ思ヒマス、衆議院ノ方ヲ讀ミマス、

要スルニ昭和十二年度ノ一般會計第一豫備

金ノ方ノ豫算ガ八百萬圓デ、ソレカラ出タ

モノガ七百五十一萬圓アルノデ、殘ガ四十

九萬圓、ソレカラ昭和十三年度ノ方ノ一般

會計第二豫備金ノ豫備ガ六千萬圓デ、其ノ支途ガ五千六十四萬圓デアアルカシテ約九百三十六萬圓ノ殘ガアル、斯ウ云フ風ナ御説明デアリマシタガ、或ハ今日御説明ノハ是ト違ッテ居リマスノデ、何かソコニ理由デモアルノデゴザイマセウカ

○政府委員(氏家武君) 別ニ違ッタコトヲ申上ゲル積リデハアリマセヌケレドモ、只總額ノコトヲ申上ゲタノト、申上ゲナイノト違ヒノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、尙速記録ヲ調べマシテ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○男爵岩村一本君 只今何レ速記録ヲ調べテ御答辯ガアルサウデゴザイマスカラ、ソレデ宜シウゴザイマスガ、兎ニ角御説明ノアツタコト、速記録トハ違ッテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、併シナガラ結論ニ於テハ或ハ勿論間違ッタコトハナイダラウトハ思ヒマスガ、其ノ程度ニ致シテ置キマス

○委員長(伯爵白川資長君) ソレデハ皆サシニ御諮リ致シマスガ、本問題ハ此ノ程度ニ今日ハ都合上シテ戴キマシテ、明日續行スルコトニ願ヒタイト思ヒマス、明日ハ午前十時ノ豫定デゴザイマスルガ、豫算ノ委員會ノ方デ三人ノ質問者ガアルサウデアリ

マス、豫算委員會ガ終レバ十時ニ出來マシ、豫算委員會ガオ終ヒニナラヌト明日一時半ニナリマス、ソレカラ只今關稅定率法中改正法律案ト昭和七年法律第四號中改正法律案ガ本會議ヲ通りマシテ、矢張り此ノ委員會ニ付託ニナッタサウデゴザイマスガ、政府ノ御都合デ只今御説明ダケ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 本委員會ニ付託セラレマシタ關稅定率法中改正法律案及ビ昭和七年法律第四號中改正法律案ニ付テハ本會議ニ於テ大體ノ説明ヲ致シタノデゴザイマスガ、此ノ機會ニ於テ少シク敷衍シテ御説明ヲ致シタイト存ジマス、關稅定率法中改正法律案ハ桐油外六品目ノ關稅ヲ撤廢セントスルモノデアリマス、是等ノ物品ハ何レモ主トシテ滿洲國又ハ支那ヨリ輸入セラレマスル所ノ同國ノ重要生産物デアリマス、我が國現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ、其ノ輸入稅ヲ撤廢シ以テ日滿支三國間ノ經濟提携ニ關スル本邦側ノ關稅上ノ措置ノ一端ニ資セントスルモノデアリマス、今簡單ニ各品ニ付テ御説明申上ゲマス、第一ニ黍及稗デゴザイマスガ、之ハ主トシテ滿洲カラ輸入セラレ給又ハ糊ノ原料等ニ使用セラル、外飼料等ニモ汎ク使用セラレテ居ルノデア

リマス、綠豆ハ主トシテ滿洲カラ輸入セラレマスガ、是ハ非常ニ小粒デアリマシテ、主トシテ支那料理ノ「モヤシ」等ニ使用セラレテ居リマス、本邦ニハ此ノ種類ノモノハ殆ド生産ガゴザイマセヌ、胡麻子ハ主トシテ支那及ビ滿洲カラ輸入セラレル物品デアリマシテ、殆ド大部分ハ製油原料ニ供セラレテ居リマス、胡麻子ハ殆ド全部滿洲カラ輸入セラレテ居ルト言ッテモ良イノデアリマシテ、是モ御承知ノ通り輸入後製油原料ニ供セラレテ居ルノデアリマス、其ノ油ハ本邦ノ重要ナ輸出品デアリ、尙各種ノ塗料類、「インキ」又ハ人造革ノ製造等ニ使用セラレ、重要ナル原料デアリマス、本品モ亦本邦ニハ其ノ生産ガ殆ドゴザイマセヌ、次ニ蓖麻子油ハ滿洲及ビ支那兩國ヨリ輸入セラレマスガ、本品ハ御承知ノ通り醫藥等ニ用ヒラレマス外、最近ニ於テハ飛行機等ノ機械油又ハ工業用ノ油トシテ甚ダ重要ナ地位ヲ占メルニ至リマシタ、元來蓖麻子其ノモノモ本邦ニ殆ド生産ハアリマセヌノデ、其ノ原料ヲ滿洲等ヨリ輸入シテ製油ノ上需要ニ充テテ居ルノデアリマスガ、目下ノ狀況ニ鑑ミマシテ蓖麻子油ノ中囀入ノ藥用ニ供セラレルモノハ現行稅率ニ割ニ据置キマシテ、罐入樽入又ハ壺入ノモノハ之ヲ無稅

ト爲スヲ適當ト認メタ次第デゴザイマス、尙現行輸入稅表ニハ「蓖麻子油」ト云フ文字ハ極メテムヅカシイ漢字デ書イテ居リマシ、今回資源ニ關スル標準用語ニ依リ片假名ノ「ヒマシ油」トスルコトニ改メ度イト存ジマス、次ニ桐油デゴザイマスガ、是ハ支那ノ特産物デアリマシテ、油桐ノ實カラ製造致シマスル油デアリマス、高給ナ塗料其ノ他防水布、人造革「リノリウム」等ノ製造原料デアリマス、本品ハ本邦ノ生産極メテ僅少デアリ現在ハ殆ド大部分支那カラ輸入セラレテ居リマス、尙本品ハ米國等ニ於テ工業用原料トシテ使用セラレテ居リ、現在支那カラ直接米國ヘ多量ニ輸出セラレテ居ル現狀デアリマス、本邦ニ於テモ此ノ際之ガ輸入稅ヲ撤廢スルノヲ適當ト認メタ次第デアリマス、次ニ桐子デアリマスガ、桐子ノ輸入額ハ甚ダ僅少デハゴザイマスガ、製品タル桐油ノ關稅ヲ無稅ト致シマスレバ、ソレトノ釣合上其ノ原料タル本品ノ輸入稅モ亦無稅ト致シマスルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、尙採油中ノ種子ハ特別ナル事情ノ無イ限リ無稅ト相成ッテ居リマス關係モアリマスノデ、本品モ旁、無稅ト致シタイノデアリマス、次ニ昭和七年法律第四號中改正法律案ニ付テ申上ゲマスガ、昭和七年法律

第四號ト申シマスノハ、從量稅品ニ對シテ
 同法別表ニ特掲セラレタモノヲ除キ、關
 稅定率法ニ定ムル稅率ノ三割五分ノ增課ヲ
 スルト云フ法律デアリマス、蠶豆及棉子油
 モ同法ノ適用ヲ受ケテ三割五分ノ增課ヲサ
 レテ居リマスガ、此ノ二品目ニ對シテモ前
 ニ申述ベタノト同様ノ趣旨ニ於テ輸入稅ヲ
 輕減スルヲ適當ト認メ、今回は等ヲ同法ノ
 別表ニ追加シ以テ三割五分ノ增課ノ範圍カ
 ラ除外シタイト考ヘタ次第デゴザイマス、
 兩品ニ付簡單ナ御說明ヲ申上ゲマスト、蠶
 豆ハ大部分支那ヨリ輸入サレテ居リ、主ト
 シテ食用ニ供サレテ居ルノデアリマス、是
 ハ本邦ニモ其ノ生産ハアリマスガ、消費ノ
 分野ハ相當ニ異ツテ居ルノデアリマス、本邦
 生産品ニ對シ急激ナル影響ヲ及スコトヲ避
 ケル爲ニ、今回ハ三割五分ノ增課分ダケヲ
 撤廢スルヲ適當ト認メタ次第デゴザイマス、
 棉子油ハ支那及米國等ヨリ輸入サレテ居ル
 ノデアリマシテ、是ハ輸出罐詰ノ原料、其
 ノ他各種ノ工業原料トシテ重要ナルモノデ
 アリマスガ、食用油ハ一面各種共ニ代替性
 ガアリマスノデ、是亦急激ナル變化ヲ避ケ
 ルヲ適當ト考ヘ、三割五分ノ增課ノ分ダケ
 ヲ撤廢スルコトトシタノデアリマス、以上
 申述ベマシタ點ヲ要約致シマスト、是等ノ

物品ハ總テ滿洲又ハ支那ノ特産物デアリマ
 シテ、是等ノ輸入稅ヲ無稅トシ、又ハ輕減
 致シマスコトハ各方面ニ支障ナキノミナラ
 ズ、是等ヲ使用シ又ハソレ等ニ加工シタル
 上輸出致シマスル向ニ甚ダ好影響アルモノ
 ト思料致スノデアリマス、一面是等ノ改正
 ニ依リマシテ日滿支三國間ノ物資ノ交流其
 ノ他ノ點ニ關シ相當良好ナル影響ヲ齎スモ
 ノト思料致ス次第デアリマス、何卒御贊成
 ヲ御願ヒ致シマス、尙關稅定率法中改正法
 律案ニ付キマシテハ衆議院ニ於テ修正ノ議
 決ガゴザイマシタ、修正セラレマシタノハ
 同法ノ附則デゴザイマス、法案ノ附則ハ「本
 法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」トアルノヲ、
 「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之
 ヲ定ム」トスルト云フノデアリマス、其ノ理
 由ハ、蓖麻子油ノ原料タル蓖麻子ハ滿洲國
 ニ於テ輸出稅ヲ課シテ居ルノデアリマスガ、
 此ノ輸出稅ト我國ノ輸入稅トヲ相關的ニ考
 ヘテ貫ヒタイト云フノデアルト思ヒマス、
 政府ニ於テキマシテハ若シ貴族院ニ於テ衆議
 院ノ修正ト同一ノ修正ヲ議決セラレルナラ
 バ、右ノ修正ニ同意スル積リデアルト衆議
 院ノ委員會ニ於テ答ヘテ置キマシタ、尙ア
 トデ別紙ノモノモ加ヘテ居リマス
 ○委員長(子爵白川資長君) ソレデハ本日

ハ此ノ程度デ散會致シマス

午後三時三十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵白川 資長君
 副委員長 男爵岩村 一木君
 委員 侯爵德川 賴貞君
 子爵梅園 篤彦君
 菊池 恭三君
 田中德兵衛君

政府委員

大藏政務次官 松村 光三君
 大藏書記官 氏家 武君
 同 松隈 秀雄君
 同 尾關 將玄君

昭和十四年三月二十五日印刷

昭和十四年三月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局